

共助～地域の力で減災を～

大きな災害が発生したとき、隣近所の日ごろのつながりが力を発揮します。お互いに力を合わせて被害を最小限に抑えましょう。

大規模な災害が発生した直後は、たくさんの方が同時に救助を求める状況となるため、警察や消防、自衛隊がすぐに救出や消火に駆けつけられることが難しくなります。被害を最小限に抑えるためには、普段からつながりのある地域や近隣の方々が集まって、互いに協力しながら防災活動に取り組むこと（「共助」といいます）が重要です。

自主防災組織って？

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に、地域住民が協力し合って自発的に結成する組織です。

自主防災組織は、普段は防災知識の普及や地域の災害の想定把握、防災訓練の開催など地域の防災力を高める活動を行っています。また、災害発生時は、地域住民の避難誘導や被害の拡大防止など初期の災害対応を行います。

自主防災組織化への支援

市内の自主防災組織結成率は61%となっており、全道平均の48%を上回っています。全国平均の75%を下回っています。

市は、自主防災組織の結成

や運営の支援などを行っています。

【支援内容】

◆ 出前講座「災害が起きたときのために」の講師（市職員）派遣

◆ 自主防災組織の災害図上訓練などの開催支援

◆ 防災資機材の貸与など

総合防災訓練

市は、昨年10月に、自主防災組織や町内会を中心に地域防災（減災）力向上のための総合防災訓練を開催しました。39町内会が参加し、災害時を想定した訓練に取り組みました。市は、今後もいろいろな災害を想定した防災訓練を開催しますので、ご協力願います。

地域の絆で減災

大地震や火山噴火など災害はいつ発生するかわかりません。災害の発生を防ぐことはできませんが、地域が協力することで、災害による被害を最小限に食い止めること（減災）はできます。地域の絆が強い地域は災害に対しても強い地域といえます。

日ごろから地域の皆さんでコミュニケーションを保ち、災害に備えましょう。

助けられる人から助ける人へ

